

秘土巡礼

土はきれいな土は不思議

INAX BOOKLET



【使用写真】

表1…ふるいから落ちる土の微粒子。撮影：大西成明
 表2・表4…耕地土壌のモノリスの部分。所蔵=農業環境技術研究所 撮影：大西成明
 扉…採集地の土表面。撮影：栗田宏一
 目次…静岡県三島市で採集された火山灰を釉薬にして焼いた陶板。撮影：大西成明
 奥付…自作の薪窯の中に入る芳村氏。これは最新作で14号目にあたる。撮影：大西成明
 表3…採集地の土表面。撮影：栗田宏一

【執筆者紹介】掲出順・敬称略・文責=編集部

栗田宏一 くりた こういち

美術家

1962年山梨県生まれ。山梨県立宝石美術専門学校卒業後、金属加工の仕事に従事するが、体調をこわして退職。その後、舞踏に出会い、自然との共振をテーマに活動を展開する。86年よりインドをはじめとしてアジア全域、中近東、中南米、アフリカなど非西欧諸国を旅しながら、足下の土や石を手がかりにありのままの自然の美しさを提示する作業を続ける。96年より日本列島の土の色の多様性に着目し、列島全域の土採集計画を開始。数百種類の土をマンダラ状に並べるインスタレーションを各地で発表している。

制作活動、「土の散華」(1997年、法然院)「PADMA SUTRA」(1999年、ギャラリートモス)「MEMORY OF THE SOIL」(2000年、ギャラリーイーノセント)「秘土の花 色彩まんだら」(2001年、世界のタイル博物館)他。

芳村俊一 よしむら・しゅんいち

芳村やきもの資料館館長・陶芸グループ「へんど」代表

1924年徳島県生まれ。鳥取高等農林学校に入学するが出兵。復員後、高等学校教諭となる。20代終わりに信楽のやきものに出会い、土を焼くことに興味をもつ。その後、小学校の美術科教諭を勤めるかたわら、全国の土と石を採集、焼成テストを重ねる。60年陶芸グループ「へんど」を結成。定年後、伊豆半島の天城湯ヶ島に芳村やきもの資料館を設立。以後、土がもつ美しさを引き出す焼き方の探求に専心している。著書、「土と石から見たやきもの」「釉から見たやきもの」「陶土の探求/やきものの原点」(光芸出版)、「タレでもできる自主陶芸」「日本全国 身近な土を焼く」(双葉社)、「日本やきもの集成」(共著、平凡社)、「やきもの実験 静岡の土」(共編、静岡新聞社)他。

渡邊裕之 わたなべ・ひろゆき

ライター

1955年東京都生まれ。和光大学人文学部人間関係学科卒業。80年代前期、粉川哲夫らと自由ラジオ局ラジオ・ホームランを開設。戦後の転用住宅について書いた「汽車住宅物語」(INAX出版)を発表。現在「海の家」を調査・研究中。

太田誠一 おおた・せいいち

京都大学大学院農学研究科熱帯林環境学分野教授

1949年長崎県生まれ。名古屋大学大学院農学研究科博士課程修了。農林水産省入省後、森林総合研究所において森林土壌に関する研究に従事。2002年より現職。著書、「土の100不思議」「熱帯林の100不思議」(共著、東京書籍)「土と食糧」「樹木医学」「森林保護学」(共著、朝倉書店)「熱帯土壌学」(共著、名古屋大学出版)他。

【取材協力】森林総合研究所・農業環境技術研究所

企画————INAXギャラリー企画委員会
 制作————株式会社INAX
 編集————住友和子編集室・村松寿満子
 デザイン————勝井三雄・中野豪雄
 撮影————大西成明
 校閲————中尾哲則
 印刷————株式会社東陽印刷所
 発行者————水谷千加古
 発行所————INAX出版
 東京都中央区京橋3-6-18
 Phone:03-5250-6571
 初版発行————2001年9月15日
 第二版第一刷————2004年4月30日
 ISBN4-87275-817-X

目次

1万点の土が秘める1万の色

栗田宏一の土採集……………4

インタビュー

土は**美**しい ただそれだけを伝えたい……………8

足下に広がる不思議な世界

土の横顔

土の基礎知識……………32

土の生い立ち／土の種類と特徴／土の性質・構造・働き

森林土壌のモノリス……………34

耕地土壌のモノリス……………42

全国各地6万点の土を焼き続けた

芳村俊一のやきものの革命……………48

インタビュー

土を**焼**くとは、
土そのものの**美**しさを引き出すこと……………52

執筆者紹介……………72

撮影＝大西成明

この小冊子はINAXギャラリーにおける
「秘土巡礼／土はきれい、土は不思議」展と併せて刊行された。
【展示デザイン＝浜田剛爾】